

# 海軍公報

第五百九十七號

海軍大臣官房

大正三年八月十一日(火)

## ○令達

官房第二二九九號

本邦外ニ於ケル艦船部隊ノ糧食品購入ハ左ノ場合ニ限  
リ時價ヲ以テ直接購買スルコトヲ得

一、毎年定ムル糧食品代價表ニ依リ購買シ難キトキ  
二、請負人ヲ置キタル地方ト雖該請負契約代價ヲ以  
テ納入シ能ハスト認ムルトキ

前項ニ依リ購買シタルトキハ其ノ品名數量代價及購入  
地ヲ毎月末日經費所管ノ經理部長ヲ經テ經理局長ニ報  
知スヘシ

大正三年八月十一日

海軍大臣 八代 六郎

## ○通牒

經豫第三八一號

大正三年八月十一日

海軍省經理局長 志 佐 勝

各委任任拂命令官殿

第五百九十七號 大正三年八月十一日

海外送金ノ件  
右通知ス  
海外送金ノ件ニ付別紙ノ通中央金庫ヨリ通牒有之候

(別紙)  
外送第九八號

大正三年八月八日

中央金庫

海軍大臣官房御中

拜啓本日横濱正金銀行ヨリ別紙寫ノ通り申出候ニ付キ  
テハ貴省所管各任拂命令官ヨリ御請求ノ海外送金モ先  
方ニテ直ニ支拂致シ呉レ候哉無覺東事ト相成候間其旨  
各命令官ニ御通知相成候様致度此段得貴意候也  
猶可成ハ此際在外債主ニ囑シテ如何ナル經路ニ依リテ  
送金候得者安全ニ届キ候哉ヲ取調ヘシメ御一報ヲ煩ス  
コトヲ得ハ好都合ニ候間可然御調査被下度是又申添候  
也

(別紙)

大正三年八月八日

横濱正金銀行東京支店

中央金庫御中

六三九

廢止

全書官  
手宛止

拜啓歐洲事局紛糾以來歐米印度支那向送金ハ全ク中休  
致居候得共貴方其他政府筋御申込ノ分ニ限リ特別取扱  
致居候然ルニ其後事局益混亂致候ニ付テハ弊行ニ於テ  
爲換手形發行致候トモ先方ニテ果シテ直ニ支拂可申ヤ  
否ヤ難計候間其儀御含置被成下度候尙ホ本日露國埃國  
獨國伊國へ送金不可能ノ趣弊行倫敦支店ヨリ電報有之  
候間左様御承知置被成下度此段爲念得貴意候敬具

○辭令

(各通) 海軍技手 天谷 鍾三郎  
海軍技手 平田 柳市

測量科勤務ヲ命ス(附水路部)

○雜款

○改姓 海軍少主計候補生清水辰二ハ佐賀縣士族藤山家へ入籍  
ノ旨七月十四日届出タリ

○電話架設 軍令部第一班ニ左ノ電話ヲ架設セリ  
新橋五十七番 (市内直通)

部外秘

海軍公報第五百九十七號附錄

大正三年八月十一日(火)

海軍大臣官房

○艦船所在

▲印ハ「ハ」ホ「フ」指定ヲ要セズ

○八月十一日午前十時開

- 【横須賀】 口金剛、石見、周防、河内▲、ト音羽、宗谷、高千穂、津輕、相模、ト瀨州▲、香取、朝日▲、比叡、豊岐▲、橋立▲、ト夕風▲、疾風、吹雪、霧、神風、ト夕霧、山彦、ト山風、口橋、櫻、響、霧雲、栗橋丸、若宮丸、口水七二、水六七、水七〇、水六八
- 【横濱】 鷗、雉
- 【大湊】 千早
- 【函館】 口曙、臘
- 【得撫】 武藏
- 【乙前】 大和
- 【吳】 口安藝▲、ト春日、富士、伊吹▲、扶桑、龍田▲、丹後、生駒▲、平戸▲、矢矧、子日、口春風、時雨、初雪、初春、椅子山丸、潜一、潜二、潜六、潜七、潜八、潜九、口水五八、水五九、韓崎、口潜一〇、潜一一、潜一二、潜一三、歷山丸、硯海丸、潜三、口潜四、潜五
- 【戸】 榛名、千代田

【門司】

駿島

【佐世保】

口磐手、八雲、常磐、千歲、ト肥前、新高、阿蘇、淀橋丸、口千鳥、鶴、隼、真鶴、水七五、口水七三、水七二、水七四

【長崎】

霧島、口鷲、鷗

【馬公】

須磨、口不知火、薄雲

【釜山】

秋津洲

【旅順】

白石、蒼鷹、鷗

【大連】

口雁、燕

【上海】

口對馬、隅田、伏見、宇治、嵯峨、淀

【漢口】

鳥羽

【航海中】 田雲(七月二十七日「マツトラン」發「マンザニヨ」)

海軍公報第五百九十七號附錄

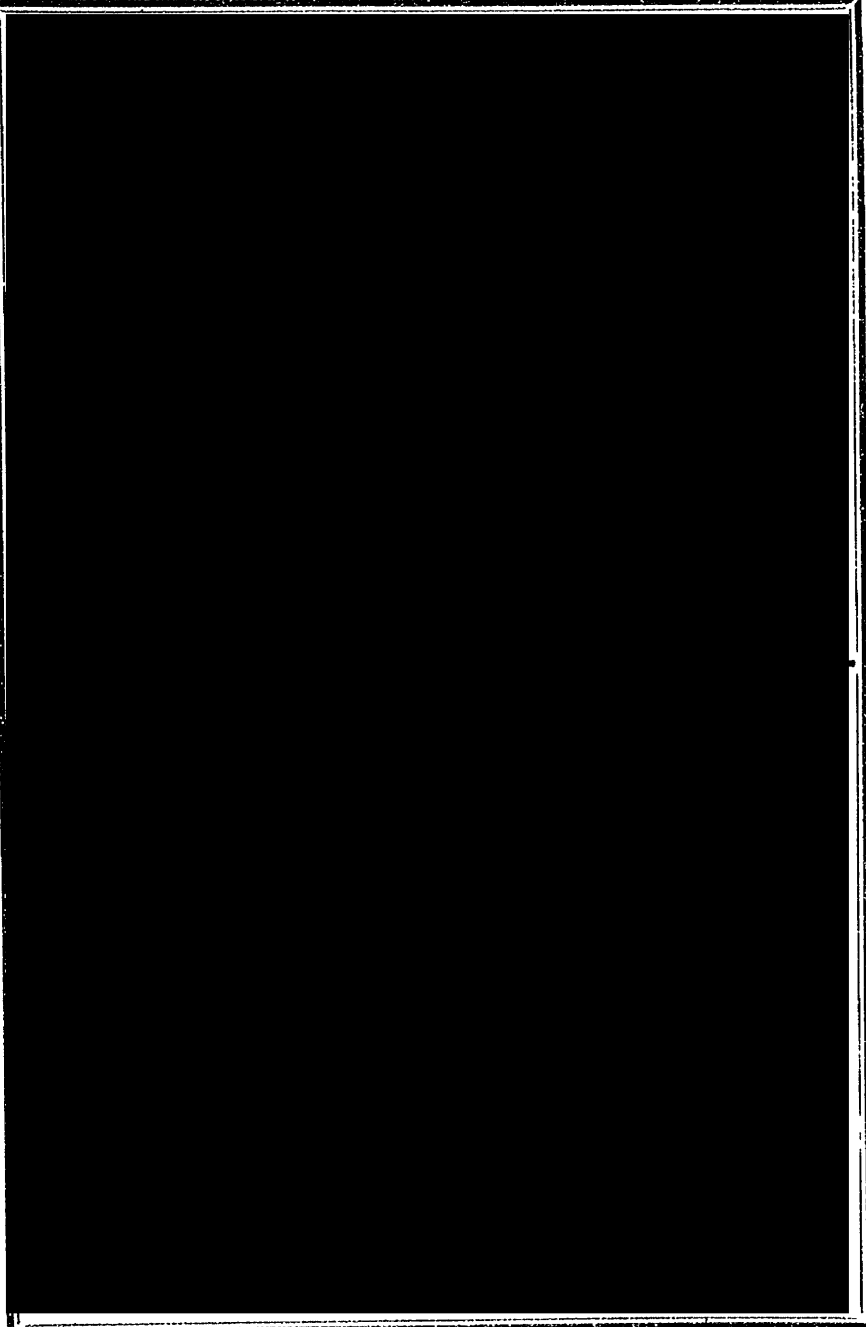
- 最上(六日柴棍發)ホンダイ(一)
- 鞍馬、區彌生、有明(八日横須賀發)
- ▷淺間、吾妻(九日青森發横須賀)
- ▷如月、初霜、海風(九日横須賀發)
- 筑波(九日横須賀發佐世保)
- ▷水六六、水二九(九日大湊發三厩)
- 松江(十日德積島發佐世保)
- 高崎丸(十日舞鶴發鎮海)
- 關東丸(十日鳥羽發横須賀)
- ▷白鷹(十日横須賀發)
- ▷薩摩、攝津(十一日横須賀發吳)

○雜款

○旗艦變更  
 横須賀鎮守府艦隊司令官旗艦ヲ八月十日河内ヨリ滿洲  
 ニ變更セル旨報告アリ

判決書


海軍公報五百九十七號附録



三

0823

# 海軍公報

第五百九十八號

海軍大臣官房

大正三年八月十二日(水)

## ○令達

官房第二三〇四號  
大正三年度ニ於テ採用スヘキ普通科電信術練習生及普通科信號術練習生ノ員數ヲ左ノ通改ム  
大正三年八月十二日  
海軍大臣 八代 六郎

所管種別	普通科電信術練習生		普通科信號術練習生	
	練習生	採用員數	徵兵ヨリ採用スルモノ	志願兵ヨリ採用スルモノ
横須賀鎮守府	三〇	六五	二七	三八
吳鎮守府	三〇	四五	一七	二八
佐世保鎮守府	二五	四五	一七	二八
舞鶴鎮守府	一五	四五	一七	二八
合計	一〇〇	二〇〇	七八	一二三

官房第二三〇九號  
明治四十二年官房第七八七號ヲ廢止ス

大正三年八月十二日

海軍大臣 八代 六郎

(參照)  
四十二年官房第七八七號ハ一週一回生獸魚肉ヲ貯藏獸魚肉ニ換給ノ件ナリ

## ○辭令

歸朝ヲ命ス  
海軍技手 辻 生一  
海軍技手 岡田 三郎  
吳海軍工廠附ヲ免シ造兵監督助手兼海軍艦政本部附ヲ命ス  
海軍技手 白井 正信  
依願免本官  
安江 浦次郎  
練習艦隊齒科醫療囑託ヲ解ク(以上均海軍省)  
海軍書記 安田 銀次郎  
給三級俸(均海軍艦政本部)

第五百九十八號

大正三年八月十二日

六四一

0824

○雜款

○電話架設

昨十一日左ノ通り電話ヲ架設セリ

軍務局

新橋五八番(市内直通)

艦政本部

新橋五九番(市内直通)

○死去

海軍技手龜山藤助ハ七月十七日死去セリ

0825

部外秘

海軍公報第五百九十八號附錄

大正三年八月十二日(水)

海軍大臣官房

○令達

官房第二三一〇號

大正三年度歳出科目左ノ通追加ス

大正三年八月十二日

海軍大臣 八代 六郎

歳出臨時部

歐洲事件費	歐洲事件費	俸給	驛費	旅費	衣糧費	會計科目 電信略號	ア ユ
款	項	目	節	疏	解	電	ア モ

○通牒

經緯第三八二號  
歐洲事件費支出整理區分別紙ノ通定  
二日ヨリ之ヲ施行ス  
大正三年八月十二日

海軍省經理局長 志佐 勝

歐洲事件費支出整理區分  
第一條 歐洲事件費ノ支出ハ左ノ區分ニ依ル

造船造兵  
及修理費  
患者費  
艦營費  
營繕費  
船舶費  
機密費  
アセ  
アス  
サシ  
サヒ  
サモ  
サセ

自然  
肖成  
大正三年八月十

海軍公報第五百九十八號附錄

0826



歐洲事件費	款	項	目	細	別	備	考
歐洲事件費	俸給	第一艦隊、第二艦隊、特命ヲ受ケタル警備艦艇及特設船舶ノ航海加俸					第一艦隊、第二艦隊、特命ヲ受ケタル警備艦艇及特設船舶ニ要スル燃料及航海用消耗品並特設望樓ニ要スル臨時備入料
	應費	臨時特ニ要スル通信費					營繕費 特命ニ依リ臨時假設ヲ要スル營造物ノ新營費
	旅費	第一艦隊、第二艦隊、特命ヲ受ケタル警備艦艇、特設船舶及特設望樓ヘノ赴任、轉勤轉乘旅費並歐洲事件ニ關スル特命出張旅費					船船費 特ニ備入ヲ要スル船舶ノ借料
	衣糧費	經理局長ノ指定ニ依リ臨時増備ヲ要スル被服物品ノ購買費及裁縫費					機密費 臨時軍事上ニ要スル機密費
		經理局長ノ指定ニ依リ購買スル糧食品並第一艦隊、第二艦隊、特命ヲ受ケタル警備艦艇及特設船舶ニ要スル食料					第二條 前條費途ノ外ハ經常費ノ支辨トス、但シ前條ノ費途ト雖モ歐洲事件費ニ於テ不足ヲ生シタル時ハ經常費ヲ以テ支辨スルモノトス
		造船造兵及修理費					第三條 現金前渡官吏ハ必要已ムヲ得サル場合ニ於テ各目（機密費ヲ除ク）ノ金額ヲ増減更定スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ事由及金額ヲ速ニ委任仕拂命令官ニ報告スヘシ
		患者費					第四條 委任仕拂命令官ニ於テ各目（機密費ヲ除ク）ノ豫算金額ヲ増減更定スルノ必要アルトキハ經理局長ノ承認ヲ承クヘシ
		第一艦隊、第二艦隊、特命ヲ受ケタル警備艦艇及特設船舶ニ要スル療用品及藥劑ノ補充費					
	歐洲事件費科目						
							和信略號
							歐信略號
							ア
							ユ
							f
							1

0827

	修理費	造船兵及				衣糧費				旅費		應費		俸給
	兵器造修費	裁縫費	被服購買費	食料	糧食購買費		出張旅費	轉勤轉乘旅費	赴任旅費		通信運搬費		航海加俸	
五	ア	五	五	五	五	ア	五	五	五	ア	五	ア	五	ア
ア	セ	ケ	マ	ヤ	ク	モ	ウ	ム	ラ	ヒ	タ	シ	イ	メ
j	j	i	i	i	i	i	i	h	h	h	h	g	f	f
5	4	8	7	6	5	4	1	9	8	7	1	9	3	2

三

0828

	船舶費			營繕費				艦營費			患者費			
何船借料		何々々	何々々假設	雜給雜費	燃料	消耗品		藥劑費	療用品		造船附屬費	艦船造修費	造兵附屬費	
				特設望樓ニ要スル臨時 傭人料										
	サ モ m 4			サ ヒ m 3	六 リ l 6	六 チ l 5	六 ト l 4	サ シ l 3	六 ロ k 7	六 イ k 6	ア ス k 5	五 ユ j 8	五 キ j 7	五 サ j 6

廢止

艦隊第三八五號  
大正三年八月十二日  
海軍省經理局長 志佐 勝

機密費

艦船所要ノ歐洲事件費前渡手續

一、艦船現金前渡官吏ハ何レノ海軍經理部長ニ對シテ  
モ歐洲事件費要求書ヲ提出シ同費ノ現金前渡ヲ受ク  
ルコトヲ得

海軍經理部長前項ニ依リ仕拂命令ヲ發行シタル後該  
艦船カ他所管ナルトキハ當該海軍經理部長ニ通報ス  
ヘシ

二、海軍經理部長ハ所管ノ艦船ニ對シ他ノ海軍經理部  
長ヨリ歐洲事件費ヲ前渡スルヲ便利ト認メタルトキ  
ハ艦船毎ニ豫定シタル科目金額ヲ當該海軍經理部長  
ニ通報スヘシ

三、海軍經理部長艦船ニ對シ前渡ノ現金ヲ送達スル必  
要アルトキハ運送船主計長其ノ他ノ士官以上ヲ當該

艦船現金前渡官吏ノ分任官吏トシ之ニ對シ現金前渡  
ノ仕拂命令ヲ發行スルコトヲ得

四、艦船現金前渡官吏前號ニ依リ分任官吏ヨリ現金ヲ  
受領シタルトキハ之ニ對シ受領證ヲ交付シ同時ニ其  
旨ヲ當該海軍經理部長ニ報告スヘシ

五、艦船現金前渡官吏翌月ニ亙リ前號分任官吏ヨリ現  
金ノ引繼ヲ受ケタルトキハ其ノ月ノ仕拂計算書中前  
月迄領收額欄ニ併算シ其ノ事由ヲ備考ニ記載スヘシ

○艦船所在

▲印ハハホフ  
指定ヲ要セス

○八月十二日午前十時調

【横須賀】 口金剛、石見、周防、口淺間、吾妻、

河内、口骨羽、宗谷、高千穂、津輕、相模、  
口滿州、香取、朝日、比叡、豐岐、橋立、  
口夕風、疾風、吹雪、霞、神風、口夕霧、

山彥、口山風、口橋、櫻、響、霞雲、  
關東丸、栗橋丸、若宮丸、口水七一、水六七、  
水七〇、水六八

【横濱】 口鴻、鷗

【函館】 口千早、口曙、龍

【得撫】 武藏

【乙前】 大和

吳 口安藝、口春日、富士、伊吹、扶桑、  
龍田、口丹後、生駒、口平戸、矢矧、口子日、  
口春風、時雨、初雪、初春、椅子山丸、口潜一、  
口潜二、口潜六、口潜七、口潜八、口潜九、口潜一〇、

海軍公報第五百九十八號附錄

五

0830

潜一、潜二、潜三、歷山丸、硯海丸、潜三、  
潜四、潜五

【神】 戸 榛名、千代田  
【門】 司 嚴島

【舞】 鶴 三笠、日進、筑摩、見島、鹿島、  
新高、阿蘇、淀橋丸、千鳥、鶴、準、真鶴、  
水七五、水七三、水七二、水七四

【佐世保】 口鞍馬、磐手、八雲、常磐、千歲、肥前、  
利根、敷島、笠置、沖島、追風、白鷹、  
夕立、三日月、夕暮、白妙、松風、白雪、  
野分、長月、菊月、卯月、水無月、綾波、  
磯波、浦波、朝霧、朝潮、白雲、村雨、  
陽炎、水三三、水六〇、水六一、猿橋丸、雲雀、  
鶴

【牛】 深 潮、若葉、朝風

【長】 崎 霧島、鷲、鷗

【馬】 公 須磨、不知火、薄雲

【釜】 山 秋津洲

【旅】 順 明石、雁、燕、蒼鷹、鶴

【上】 海 對馬、隅田、伏見、宇治、嵯峨、淀  
鳥羽

【航海中】 出雲(七月二十七日「マザトラン」發「マンザニヨ」)  
彌生、有明(八日横須賀發)

六

如月、初霜、海風(九日横須賀發)  
筑波(九日横須賀發佐世保へ)  
水六六、水二九(九日大湊發三厩へ)  
松江(十日徳積島發佐世保へ)  
高崎丸(十日舞鶴發鎮海へ)  
薩摩、攝津(十一日横須賀發吳へ)  
水五八、水五九(十一日吳發)  
白鷹、雉(十一日横濱發長浦へ)  
最上(十一日、ホンダイ「發馬公へ」)

○雜款

○旗艦變更  
第二艦隊司令長官旗艦ヲ八月十一日磐手ヨリ鞍馬ニ變  
更セル旨報告アリ

0831

# 海軍公報

第五百九十九號

大正三年八月十三日(木)

海軍大臣官房

## ○雜款

○著任、退校

海軍經理學校長清水海軍主計大監昨十二日著任、前海軍經理學校長櫻海軍主計總監同日退校

○電話架設

本日左ノ通り電話ヲ架設セリ

海軍軍令部第四班 新橋七七番(市内直通)

海軍省經理局 同 七八番(市内直通)

海軍省人事局 同 七九番(市内直通)

第五百九十九號

大正三年八月十三日

六四三

0832

部外秘

海軍公報第五百九十九號附錄

大正三年八月十三日(木)

海軍大臣官房

令達

官房第二三二五號

本月二十日以後ニ於テ現役滿期トナルヘキ下士卒ハ當分ノ内其ノ服役ヲ延期ス但シ現ニ歸休中ノ者ハ此ノ限在ラス

大正三年八月十三日

海軍大臣 八代 六郎

艦船所在

印ハハホノ  
指定ヲ要セス

○八月十三日午前十時調

【横須賀】 口金剛、石見、周防、ト淺間、吾妻、河内、ト音羽、宗谷、高千穂、津輕、相模、ト瀨州、香取、朝日、比叡、壹岐、橋立、ト夕風、疾風、巨彌生、有明、吹雪、叢雲、ト如月、初霜、神風、ト夕霧、山彦、ト山風、海風、巨橋、櫻、響、叢雲、關東丸、栗橋丸、若宮丸、ト水七一、水六七、水七〇、水六八、白鷹、雄

【横濱】 巨鴻、鷗

【國館】 千早、巨曙、胤  
【得撫】 武藏  
【乙前】 大和

【吳】 巨安藝、ト春日、富士、伊吹、扶桑、龍田、丹後、生駒、平戸、子日、巨春風、時雨、椅子山丸、潜一、潜二、潜六、潜七、潜八、潜九、韓崎、巨潜一〇、潜一一、潜一二、潜一三、歷山丸、硯海丸、潜三、巨潜四、潜五

【神戶】 榛名、千代田  
【門司】 嚴島  
【豐後水道】 初雪、初春

【舞鶴】 巨三笠、日進、筑摩、見島、鹿島、新高、阿蘇、淀橋丸、巨千鳥、巨鶴、巨隼、巨真鶴、水七五、巨水七三、水七二、水七四

【佐世保】 巨鞍馬、磐手、筑波、八雲、常磐、千歲、ト肥前、敷島、巨笠置、松江、沖島、追風、巨白鷺、夕立、巨三日月、夕暮、白雲、巨長月、菊月、卯月、水無月、巨綾波、磯波、浦波、朝霧、村雨、巨水三三、水六〇、水六一、積橋丸、雲雀、鶉

【鹿兒島】 巨潮、若葉、朝風

海軍公報第五百九十九號附錄

0833

【長崎】霧島、巨鷲、鷗  
 【馬公】須磨、巨不知火、薄雲  
 【鎮海】高崎丸  
 【釜山】秋津洲  
 【旅順】明石、巨雁、燕、蒼鷹、鶴  
 【上海】▷對馬、隅田、伏見、宇治、嵯峨、淀  
 【漢口】鳥羽  
 【マンザニョ】出雲

【航海中】

□水六六、水二九(九日大湊發三腕へ)  
 ▷薩摩、攝津(十一日横須賀發吳へ)  
 □水五八、水五九(十一日吳發)  
 最上(十一日「ホンダイ」發馬公へ)  
 矢矧(十二日吳發佐世保へ)  
 ▷利根、巨白妙、松風、野分、巨朝潮、白雲、陽炎(十二日佐世保發對馬近海へ)

○雜款

○郵便物送付先  
 運送船若宮丸宛郵便物ハ當分横須賀ニ向ケ發送相成度旨通知アリ

○辭令發表方  
 自今海軍辭令ハ官報又ハ海軍辭令公報ニ據リ發表ス  
 ○練習艦隊事務所  
 練習艦隊司令部ヲ一時横須賀水交支社内ニ置キ執務致度旨同艦隊司令部ヨリ上申ノ末八月十二日認許セラレタリ

0834



(部外ニ配付セズ)

海軍公報第五百九十九號附錄

大正三年八月十三日(木)

海軍大臣官房

本年七月中ニ於ケル艦船從軍年始終期左ノ通

(海軍省軍務局)

年	月	日	地名	發行先	任	務	年	月	日	地名	記	事
---	---	---	----	-----	---	---	---	---	---	----	---	---

明石

三、七、二 吳 旅順 警備

對馬

三、七、七 佐世保 支那 警備 三、七、一八 基隆 一時寄港

三、七、二五 馬公 支那 同

笠置

三、七、一四 佐世保

正誤

嵯峨 三、六、一〇「佐世保」發ハ三、六、一〇「玉ノ浦」發ノ誤

海軍公報第五百九十九號附錄

0835

# 海軍公報 第六百號

大正三年八月十四日(金)

海軍大臣官房

## ○令達

官房第二三二八號  
 現役下士卒ノ任用進級及増俸ハ平時ニ於テ在籍下士卒  
 ヲ以テ補充スヘキ艦團其ノ他各部ノ定員及之ニ對スル  
 補缺員ノ合計數ヲ基準トシ之ヲ行フヘシ  
 大正三年八月十四日 海軍大臣 八代 六郎

## ○辭令

海軍機關少佐 古立 藤吉  
 第一部勤務ヲ命ス(海軍艦政本部)  
 海軍技手 岡田 三郎  
 第一部附ヲ命ス(海軍艦政本部)

## ○雜款

○死去  
 海軍書記勳七等安田銀次郎ハ八月十日死去セリ

大正三年八月十四日  
 廢止

第六百號 大正三年八月十四日

六四五

0836

(秘 外 部)

海軍公報第六百號附錄

海軍大臣官房

大正三年八月十四日(金)

○艦船所在

▲印ハ、ホノ  
指定ヲ要セス

○八月十四日午前十時調

【横須賀】▷香羽、▷金剛、石見、周防、▷淺間、

吾妻、河内▲、宗谷、津輕、相摸、▷滿州▲、

香取、朝日▲、比叡、壹岐▲、橋立▲、▷夕風▲、

疾風、▷彌生、有明、吹雪、霞、▷如月、

初霜、神風、▷夕霧、山彦、▷山風、海風、

▷橋、櫻、響、霧雲、關東丸、栗橋丸、

若宮丸、▷水七二、水六七、水七〇、水六八、

白鷹、雉

【横濱】▷鴻、▷鷗

【函館】▷千早、▷曙、隴、水二九

【得撫】▷武藏

【乙前】▷大和

【吳】▷安藝▲、▷春日、富士、伊吹▲、扶桑、

龍田▲、丹後、生駒▲、平戸▲、▷春風、時雨、

椅子山丸、▷水五八、水五九、潜一、潜二、潜六、

潜七、潜八、潜九、韓崎、▷潜一〇、潜一一、潜一

二、潜一三、歷山丸、硯海丸、潜三、▷潜四、潜五

【神戶】▷榛名、千代田

【門司】

【豊後水道】

【舞鶴】

【佐世保】

【鹿兒島】

【長崎】

【馬公】

【釜山】

【旅順】

【上海】

【漢口】

【マンザニヨ】

【航海中】

殿島

初雪、初春

新高▲、阿蘇、淀橋丸、▷千鳥、鶴、隼、真鶴、

水七五、▷水七三、水七二、水七四

千歲、矢矧、▷肥前、敷島▲、笠置▲、松江、

沖島▲、追風▲、▷白鷺▲、夕立▲、三日月▲、夕暮▲、

白雲▲、▷長月▲、菊月▲、卯月▲、水無月▲、▷綾波、

磯波、浦波、朝霧▲、村雨▲、▷水三三、水六〇、

水六一、猿橋丸、雲雀、鶉

【霧島】▷霧島、▷若葉、朝風

【須磨】▷不知火、薄雲

【秋津洲】

【明石】▷雁、燕、蒼鷹、鶴

▷對馬、隅田、伏見、宇治、嵯峨、淀

鳥羽

出雲

海軍公報第六百號附錄

0837

呂水六六(九日大湊發三厩へ)

ト薩摩、攝津(十一日横須賀發吳へ)

最上(十一日)ホングイ(發馬公へ)

ト利根、白妙、松風、野分、朝潮、白雲、陽炎(十二日

佐世保發對馬近海へ)

子日(十三日吳發鹿兒島へ)

高千穂(十三日横須賀發佐世保へ)

高崎丸(十四日佐世保發長崎へ)

○ 雜款

○ 郵便物送附先

軍艦石見宛郵便物送付先左ノ通り通牒アリタリ  
八月十四日以後ハ吳郵便局氣付

0838

海軍公報號外

大正三年八月十四日(金)

海軍大臣官房

○令達

官房第二三五〇號

特設船舶部隊ニ赴任スル者ニハ家族移轉料ヲ支給セス  
前項ノ者他ニ勤務ヲ命セラレタル場合ニ於テハ新勤務  
地ト前勤務地(新ニ任用セラレタル者ハ其ノ當時ノ現住地轉勤者ハ  
ト異ナルトキ其ノ際移轉料ヲ支給ス

大正三年八月十四日

海軍大臣 八代 六郎

官房第二三五一號

特設部隊ニ赴任スル者ニ給スル支度料ハ當分ノ間半額  
トス

大正三年八月十四日

海軍大臣 八代 六郎

(秘 外 部)

自然消滅

自然消滅

海軍公報號外

0839

# 海軍公報

第六百一號

大正三年八月十五日(土)

海軍大臣官房

## ○辭令

○大正三年八月十四日

任海軍屬  
給七級俸

重 新之丞

海軍省人事局附ヲ命ス  
給九級俸

海軍屬 重 新之丞  
海軍屬 小川 琢磨  
海軍屬 小川 琢磨

文官分限令第十一條第一項第四號ニ依リ休職ヲ命ス  
(以上略+海軍省)

## ○雜款

○郵便物發送先  
練習艦隊司令部事務ヲ横須賀水交支社ニ於テ執行スル  
ニ付同隊司令部宛郵便物ハ同所ニ回送相成度旨通知ア  
リタリ

第六百一號 大正三年八月十五日

六四五

0840

(秘 外 部)

海軍公報第六百一號附錄

大正三年八月十五日(土)

海軍大臣官房

○ 辭 令

敷設水雷改造調査委員長ヲ命ス

海軍少將 中野 直枝

海軍大佐

荒川 仲吾

同

伊東 祐保

海軍中佐

竹村 伴吾

同

横尾 義達

同

油谷 堅藏

海軍少佐

古賀 賢吉

同

關川 干城

同

前川 信義

同

榑山 信治

同

岡村 友雄

同

岸科 政雄

同

百武 源吾

同

松本 嘉一郎

同

堀江 平彌

同

武久 完

同

白井 時太郎

同

山下 茂太郎

海軍技師

(各通)

海軍公報第六百一號附錄

敷設水雷改造調査委員長ヲ命ス

海軍大佐 伊東 祐保

水底電線切斷要具調査委員長ヲ免ス

海軍中佐

竹村 伴吾

同

横尾 義達

同

油谷 堅藏

海軍少佐

古賀 賢吉

同

前川 信義

同

齋藤 清一

同

百武 源吾

海軍大尉

堀江 平彌

同

白井 時太郎

海軍技師

山下 茂太郎

(各通)

○ 艦 船 所 在

○八月十五日午前十時調

【横須賀】▷香羽、上金剛、河内▲、宗谷、津輕、相模、▷滿州▲、香取、朝日▲、比叡、豊岐▲、橋立▲、▷夕風▲、疾風、▷彌生、有明、吹雪、

▲印ハハホノ  
指定ヲ要セス

0841

【横】 駿、口如月、初霜、神風、口夕霧、山彦、  
 口山風、海風、口橋、櫻、響、霧雲、  
 關東丸、栗橋丸、若宮丸、口水七一、水六七、  
 水七〇、水六八、白鷹、雄

【函】 濱、口鴻、鷗

【得】 館、千早、口曙、臘、水二九

【乙】 撫、武藏、大和

【吳】 口安藝、口春日、口薩摩、攝津、富士、  
 伊吹、扶桑、龍田、丹後、生駒、平戸、  
 口春風、時雨、椅子山丸、口水五八、水五九、潛一、  
 潛二、潛六、潛七、潛八、潛九、韓崎、口潛一〇、  
 潛一一、潛一二、潛一三、歷山丸、硯海丸、潛三、  
 口潛四、潛五

【神】 榛名、千代田

【門】 可、殿島

【豊後水道】 初雪、初春

【舞】 鶴、口三笠、日進、見島、鹿島、新高、  
 阿蘇、淀橋丸、口千鳥、鶴、隼、真鶴、水七五、  
 口水七三、水七二、水七四

【佐世保】 口鞍馬、磐手、筑波、八雲、常磐、  
 千歳、矢矧、口肥前、敷島、笠置、松江、  
 沖島、追風、口白鷺、夕立、三日月、夕暮、  
 白雪、口長月、菊月、卯月、水無月、口綾波、  
 磯波、浦波、朝霧、村雨、口水三三、水六〇

【航海中】  
 出雲(七月二十七日「マザトラン」發八月一日「マン  
 ザニヨ」着ノ豫定)  
 口水六六(九日大湊發三腕へ)  
 最上(十一日「ホンシイ」發馬公へ)  
 口利根、口白妙、松風、野分、口朝潮、白雲、鳴炎(十二日  
 佐世保發對馬近海へ)  
 高千穂(十三日横須賀發佐世保へ)  
 淺間(十四日横須賀發吳へ)  
 吾妻(十四日横須賀發佐世保へ)  
 石見、周防(十四日横須賀發)  
 筑摩(十四日舞鶴發佐世保へ)

【鹿兒島】 水六一、嶺橋丸、雲雀、鶴  
 口湖、若葉、朝風、子日

【長崎】 霧島、口鷲、鷗、高崎丸

【馬公】 須磨、口不知火、薄雲

【釜山】 秋津洲

【旅順】 明石、口雁、蕨、蒼鷹、鶴

【上海】 口對馬、隅田、伏見、宇治、嵯峨、  
 淀、鳥羽



# 海軍公報

第六百二號

大正三年八月十六日(日)

海軍大臣官房

## ○辭令

海軍技手

藤井 政一

同

鈴木 友吉

同

安藤 未瑳夫

同

梶谷 延次郎

同

黒川 一太郎

同

田平 作藏

(各通)

歸朝ヲ命ス(以上<sup>以上</sup>海軍省)

## ○雜款

○轉居

荏原郡目黒村大字三田字茶屋

坂上二十一番地

芝三四九〇

海軍大將男爵

出羽 重遠

○電話架設

赤坂區青山南町六ノ一六

芝二二九九

海軍省參事官

山川 端夫

海軍公報第六百二號 大正三年八月十六日

六四七

0843

# 海軍公報第六百二號附錄

大正三年八月十六日(日)  
海軍大臣官房

## ○令達

官房第二三五二號 大正三年官房第二三五二號  
驅逐艦、水雷艇、特設砲艦、工作船、病院船、運送船、通信船其ノ他海軍用船 本官房上ニハ明治三十七年官房第一五五八號ニ依リ航泊記事摘要報告ヲ進達スヘシ  
明治三十八年官房第四〇四一號ハ之ヲ廢止ス  
大正三年八月十六日  
海軍大臣 八代 六郎

秘外部  
廢止

明治三十八年官房第四〇四一號ハ内地ニ在ル艦船及朝鮮沿岸ヲ航海スル艦船ハ航泊記事摘要報告ヲ進達スルニ及ハサル件ナリ

## ○艦船所在

▲印ハ、ハホン指定ヲ要セス

○八月十六日午前十時調  
【横須賀】 仁金剛、河内、宗谷、津輕、相模、卜滿州▲、香取、朝日▲、比叡、壹岐▲、橋立▲、卜夕風▲、疾風、卜夕霧、山彥、響、雲雲、關東丸▲、栗橋丸、若宮丸、卜水七一、水六七、水七〇、水六八、白鷹、雄

海軍公報第六百二號附錄

- 【横】 濱 仁鴻、鷗
- 【國】 館 千早、仁曙、朧
- 【三】 腕 仁水六六
- 【得】 撫 武藏
- 【乙】 前 大和
- 【吳】 仁安藝▲、仁春日、仁薩摩、攝津、富士、伊吹▲、扶桑、龍田▲、丹後、生駒▲、平戸▲、仁春風、時雨、椅子山丸、仁水五八、水五九、潜一、潜二、潜六、潜七、潜八、潜九、韓崎、仁潜一〇、潜一、潜二、潜三、歷山丸、硯海丸、潜三、仁潜四、潜五
- 【神】 戸 榛名、千代田
- 【門】 司 鷲島
- 【豐後水道】 初雪、初春
- 【舞】 鶴 仁三笠、日進、見島▲、鹿島▲、新高▲、阿蘇、淀橋丸、仁千鳥、鶴、隼、真鶴、水七五、仁水七三、水七二、水七四
- 【佐世保】 仁鞍馬、磐手、筑波、八雲、常磐、千歲、矢矧、仁肥前、敷島▲、笠置▲、松江、仁島▲、仁白鷺▲、夕立▲、三日月▲、夕暮▲、白雲▲、仁長月▲、菊月▲、卯月▲、水無月▲、朝霧▲、村雨▲

水六〇、嶺橋丸、高崎丸、雲雀、鶉  
鹿兒島、  
長崎、霧島、  
馬公、須磨、  
釜津洲、  
釜山、  
旅順、  
上海、  
鳥羽

明石、  
雁、  
燕、  
蒼鷹、  
鶉  
對馬、  
隅田、  
伏見、  
宇治、  
淀、  
泥、

【航海中】

出雲(七月二十七日「マザトラン」發八月一日「マン  
ザニヨ」着ノ豫定)  
最上(十一日「ホンゲイ」發馬公へ)  
利根、  
佐世保發對馬近海へ)  
高千穂(十三日橫須賀發佐世保へ)  
淺間(十四日橫須賀發吳へ)  
吾妻(十四日橫須賀發佐世保へ)  
石見、  
筑摩(十四日舞鶴發佐世保へ)  
嵯峨(十五日上海發)  
綾波、  
浦波(十五日佐世保發彌ノ浦ヲ經テ東水  
道へ)  
水二九(十五日函館發大湊へ)  
追風(十五日佐世保發吳へ)

音羽、  
彌生、  
有明、  
吹雪、  
霞、  
如月、  
初霜、  
神風、  
山風、  
海風、  
橘、  
櫻、  
十五日橫須賀發佐世保へ)  
水三三、  
水六一(十五日佐世保發港外へ)

○ 雜款

○郵便物送付先  
第二艦隊司令部並口鞍馬、  
筑波、  
常盤、  
磐手、  
八雲、  
千歲  
宛ノ郵便物ハ佐世保郵便局氣付トシテ發送相成度旨通  
知アリ  
第一艦隊水雷戰隊司令部及音羽、  
第一、  
第二、  
第十六、  
第十七驅逐隊宛郵便物ハ佐世保ニ向ケ發送相成度旨通  
知アリ

# 海軍公報

第六百三號

大正三年八月十七日(月)

海軍大臣官房

## ○令達

官房第二〇〇五號ノ三  
大正三年度歳出科目左ノ追加ス  
大正三年八月十七日

海軍大臣 八代 六郎

款	項	目	節	解疏	會計科目 電信略號
(災害費)	吳鎮守府管 内風水害復 繕費	練炭製造所 緊船塲防波 堤其他復舊 兵學校船艇 緊留場其他 復舊			エナ
		吳工廠船品 其他復舊			エウ

海軍公報第六百三號

大正三年八月十七日

六四九

吳鎮守府整 度射塲海 岸石垣復 岸石垣復 吳防備隊水 雷艇團復	エノ
	エク

## ○辭令

海軍々醫中監 栗田 俊三  
軍艦霧島ノ艦裝ニ従事スヘシ(前海軍艦政本部長)

## ○雜款

### ○電話架設

本郷區曙町十六番地  
下谷五一四〇番 軍令部參謀 下村 延太郎

### ○葬儀

海軍中將正四位勳三等功四級諸岡頼之本月十六日午前  
五時卒去葬儀ハ途中葬列ヲ廢シ來ル二十一日午前十時  
青山齋塲ニ於テ佛式執行(海軍葬儀幹事)

0846

(秘 外 部)

海軍公報第六百三號附錄

○通 牒

經豫第三八九號

大正三年八月十七日

海軍省經理局長 志 佐 勝

- 運送船等便乘者食費仕拂手續
- 一 運送船等ニ便乗シタル者ノ食費仕拂手續左ノ通定ム  
給與令第八十條及戰時給與規則第十二條ニ該當ス  
ル下士卒其ノ他ノ者運送船等ニ便乗中本船ヨリ食  
事ノ供給ヲ受ケタルトキハ其食費ハ主計官ノ乘組  
アル船ニ在リテハ同官ノ乘組ナキ船ニ在リテハ經  
理局ニ於テ備入契約ヲ爲シタル船ニ對シテハ經理  
局、經理部ニ於テ備入契約ヲ爲シタル船ニ對シテ  
ハ當該經理部ニ於テ一食金拾二錢ノ割ヲ以テ仕拂  
ヲ爲スコト
  - 二 主計官ノ乘組ナキ運送船等ニ便乗シタル者ノ食費  
ハ該船ニ於テ別紙書式ニ依リ明細書ヲ作り乘組監  
督將校(監督將校乗組ナキハ船長)ノ證明ヲ受ケテ之ヲ船主ニ送リ  
該船主ヲシテ請求セシムルコト
  - 三 准士官以上候補生文官及雇員ニシテ旅費ノ給與ヲ

海軍公報第六百三號附錄

大正三年八月十七日(月)

海軍大臣官房

受クル者其他ノ便乘者ニシテ糧食ヲ給與セサル者  
ハ各本人ヨリ直接船長若クハ事務長ニ仕拂ヲ爲サ  
シムルコト

〔書式〕

便乘者食費明細書

運送船 何九

乗船月日	記 事	食數	金 額	官職氏名
何月何日	退食後 佐世保海兵團	一〇	一圓二十錢	一等水兵何某
何月何日	朝食後 軍艦何々	一〇	一圓二十錢	同 何某
何月何日	夕食後 軍艦何々	八	九十六錢	二等水兵何某
何月何日	夜食後 軍艦何々	二八	三圓三十六錢	

右ノ通り候也  
大正何年何月何日  
事務長 何某印  
右證明ス  
監督將校(船長) 何某印  
備考 食費ハ其月分ヲ翌月初旬ニ於テ請求スルヲ例ト  
ス但臨時特ニ仕拂ヲ要スルトキハ此ノ限りニア  
ラス

0847

○艦船所在

▲印ハハホ  
指定ヲ要セス

○八月十七日午前十時

【横須賀】

河内、宗谷▲、津輕、相模、ト滿州▲、

香取、朝日▲、比叡、豊岐▲、橋立▲、ト夕風▲、

疾風、山彦、響、霞雲、關東丸▲、栗橋丸、

菅宮丸、水六七、水七〇、白鷹、雄

濱】ト水七一、水六八

【清水】

ト夕霧

【函館】

ト千早、ト曙、隴

【三得】

ト水六六

【乙前】

ト武藏

【吳】

ト伊吹▲、安藝▲、ト春日、ト薩摩、石見、

周防、攝津、富士、扶桑、龍田▲、丹後、

生駒▲、平戸▲、駒橋、ト春風、時雨、椅子山丸、

ト水五八、水五九、潜一、潜二、潜六、潜七、潜八、

潜九、韓崎、ト潜一〇、潜一一、潜一二、潜一三、

歷山丸、豊橋丸、梅丸、神通丸、朝鮮丸、擇捉丸、

硯海丸、潜三、ト潜四、潜五

【神戶】

ト榛名、千代田

【門司】

ト駭鳥

【舞鶴】

ト三笠、日進、見島▲、鹿島▲、新高▲、

阿蘇、淀橋丸、ト千鳥、鶴、隼、翼鶴、水七五

ト水七三、水七二、水七四

【佐世保】

ト鞍馬、磐手、筑波、高千穂、筑摩、

八雲、常磐、千歳、矢矧、ト敷島▲、肥前、

笠置▲、松江、沖島▲、ト利根、ト白妙、松風、

野分、ト朝潮、白雲、陽炎、ト白鷺▲、夕立▲、

三日月▲、夕暮▲、白雲▲、ト長月▲、菊月▲、卯月▲、

水無月▲、ト綾波、磯波、浦波、朝霧▲、村雨▲、

ト水三三、水六一、水六〇、猿橋丸、高崎丸、熊野丸、

雲雀、鶉

【長崎】

ト霧島、ト鷲

【馬公】

ト須磨、ト不知火、薄雲

【釜山】

ト秋津洲

【旅順】

ト明石、ト雁、燕、蒼鷹、鶴

【上海】

ト對馬、隅田、伏見、宇治、淀、

鳥羽

【サンアイエゴ】

ト出雲

【航海中】

最上(十一日「ホンガイ」發馬公へ)

淺間(十四日横須賀發吳へ)

吾妻(十四日横須賀發佐世保へ)

嵯峨(十五日上海發)

水二九(十五日函館發大湊へ)

追風(十五日佐世保發吳へ)

ト音羽、ト彌生、有明、吹雪、霞、ト如月、初霜、神風、

ト山風、海風、ト橋、櫻(十五日横須賀發佐世保へ)

三河丸(十六日吳發佐世保へ)  
 巨潮、若葉、朝風、子日(十六日鹿兒島發吳へ)  
 初雪、初春(十六日豊後水道發吳へ)  
 巨鴻、鷗(十六日横濱發長浦へ)  
 鷗(十六日長崎發佐世保へ)  
 巨金剛(十六日横須賀發佐世保へ)

○ 雜 款

○報告用紙配附  
 昨十六日附官房第二三五二號ニ依リ調整セラルヘキ航  
 泊記事摘要報告用紙ハ差當リ必要ナル枚數ヲ各艦船  
 現狀報告第一表へ配賦ス(海軍省軍務局)  
 ヲ進達セサル向

○旗艦變更  
 吳鎮守府艦隊司令官旗艦ヲ八月十日安藝ヨリ伊吹ニ變  
 更セル旨報告アリ

佐世保鎮守府艦隊司令官旗艦ヲ八月八日肥前ヨリ敷島  
 ニ變更セル旨報告アリタリ

○郵便物送付先  
 第一艇隊司令部及第六十八號、第七十一號水雷艇宛郵  
 便物ハ當分横濱港務部氣付ニテ發送相成度旨通知アリ  
 タリ

第二艇隊司令部並巨鴻、鷗宛郵便物ハ海軍水雷學校氣  
 付ニテ發送相成度旨通知アリタリ  
 軍艦筑波宛郵便物ハ佐世保ニ向ケ發送相成度旨通知ア  
 リタリ

○正誤  
 本月十五日海軍公報第六百一號附錄辭令欄上段二行目  
 並下段一行目「改造」トアルハ孰レモ「改良」ノ誤

海軍公報第六百三號附錄

0849

# 海軍公報 第六百四號

海軍大臣官房

大正三年八月十八日(火)

## ○令達

官房第二三三三號

當分ノ内普通科電信術練習生ハ滿二十二年未滿ノ新ニ命セラレタル四等水兵若ハ入籍前電信通信ニ從事シ將來電信兵トシテ有望ナル三四等水兵ヨリ採用シ其ノ修業期間ヲ六箇月以内ニ短縮スルコトヲ得、又其ノ採用手續ハ海軍教育本部長適宜之ヲ斟酌スルコトヲ得

海軍大臣 八代 六郎

## ○通牒

教本第八七二號

大正三年八月十八日

海軍教育本部長 名和 又八郎

各鎮守府司令長官殿

電信兵採用ノ件

左記諸號ニヨリ第十期普通科電信術練習生ヲ採用ス

### 一、員數

横須賀鎮守府 三十名  
吳 鎮守府 三十名  
佐世保鎮守府 二十五名  
舞鶴鎮守府 十五名

### 二、採用規格

官房第二三三三號ニ依ル

### 三、採用手續

海軍水雷學校規則第二十條ニ依ルコトナク新四等水兵ヨリ採用スルモノハ海兵團長、三四等水兵ヨリ採用スルモノハ所轄長之ヲ選抜シ各之ヲ鎮守府司令長官ニ報告シ鎮守府司令長官ハ其ノ採用人員ヲ決定ス

### 四、入校豫定期日

來ル九月一日ヨリ同三日迄

右通知ス

廢止

本官房  
ニテハ  
本官房  
ニテハ  
本官房  
ニテハ

海軍公報第六百四號

大正三年八月十八日

六五一

0850



海軍公報第六百四號 大正三年八月十八日

○ 辭令

佐世保海軍經理部附ヲ命ス(海軍省)

休職海軍書記 關

清

六五二

0851

海軍公報第六百四號附錄

大正三年八月十八日(火)

海軍大臣官房

○通牒

經豫第三九〇號

大正三年八月十八日

海軍省經理局長 志 佐 勝

各海軍經理部長殿  
各現金前渡官吏殿

歐洲事件費支出整理區分施行以前ニ於テ經常軍事費ニ  
テ前金渡ヲナシタル旅費食料ハ此際科目更正ヲ要セス  
其儘整理相成可然  
右通知ス

○辭令

(各通) 海軍少佐子爵 高松 公秋  
海軍技師 津田 瑛三郎

敷設水雷改良調査委員ヲ命ス(附海軍省)

海軍公報第六百四號附錄

○艦船所在

▲印ハ(ハホ)ノ  
指定ヲ要セス

○八月十八日午前十時關

【横須賀】 河内、宗谷▲、津輕、相模、ト潮州▲、  
香取、朝日▲、比叡、壹岐▲、橋立▲、巨夕風▲、  
疾風、山彥、響、巨夕霧、叢雲、關東丸▲、  
栗橋丸、若宮丸、小樽丸、水六七、水七〇、白鷹、  
雄、巨鴻、鷗

【横濱】 巨水七一、水六八

【函館】 千早、巨曙、朧

【三得】 巨水六六、水二九

【乙】 撫 武藏

【吳】 前 大和

【伊吹▲、安藝▲、ト春日、ト薩摩、石見、  
周防、攝津、富士、扶桑、淺間、龍田▲、  
丹後、生駒▲、平戸▲、駒橋、巨潮、若葉、  
朝風、子日、巨春風、追風、初雪、初春、  
椅子山丸、巨水五九、水五八、潛一、潛二、潛六、  
潛七、潛八、潛九、韓崎、巨潛一〇、潛一一、潛一二、  
潛一三、歷山丸、豐橋丸、梅丸、神通丸、朝鮮丸、  
擇捉丸、硯海丸、潛三、巨潛四、潛五

【神】 巨 樓名、千代田

【門】 司 駿島

【舞】 鶴 三笠、日進、見島、鹿島、新高、阿蘇、淀橋丸、千鳥、鶴、隼、真鶴、水七五

巨水七三、水七二、水七四

【佐世保】 口鞍馬、筑波、高千穂、筑摩、八雲、千歳、矢矧、ト敷島、肥前、笠置、松江、吾妻、沖島、ト利根、巨白妙、松風、野分、巨朝潮、白雲、陽炎、巨白鹿、夕立、三日月、夕暮、白雪、巨長月、菊月、卯月、水無月、巨綾波、磯波、浦波、朝霧、村雨、巨水三三、水六一、水六〇、積橋丸、高崎丸、三河丸、熊野丸、宮島丸、琉球丸、雲雀、鶴、鷗、崎、霧島、巨鷲

【長】 須磨、巨不知火、薄雲

【馬】 秋津洲

【釜】 山 明石、巨雁、燕、蒼鷹、鶴

【旅】 順 海 巨對馬、隅田、伏見、宇治、淀、嵯峨、鳥羽

【上】 艦 出雲

【サンアイエゴ】

【航海中】

最上(十一日)「ホンダイ」發馬公へ)

ト音羽、巨彌生、有明、吹雪、霞、巨如月、初霜、神風、巨山風、海風、巨橋、櫻(十五日横須賀發佐世保へ)

巨金剛(十六日横須賀發佐世保へ)

時雨(十七日吳發豊後水道へ)

磐手、常磐(十七日佐世保發黄海へ)

○ 雜款

○司令艇變更

第五艇隊司令艇ヲ本月十四日第五十八號水雷艇ヨリ第五十九號水雷艇ニ變更セル旨報告アリ

○郵便物送付先

第一艦隊宛郵便物送付先左ノ通り通知アリタリ

第一艦隊司令部並後任司令部及金剛、攝津、薩摩、矢矧、筑摩、水雷戰隊司令部、音羽、第一、第二、第十六、第十七驅逐隊宛ノモノハ 佐世保郵便局氣付

周防、石見宛ノモノハ 吳郵便局氣付

河内、比叡、安藝宛ノモノハ從前ノ通り

○正誤

第八版海軍部内電報略語表中左ノ通り正誤ス

一 表紙官房番號「三三四〇」ハ「三三三〇」ノ誤

一 (レ)ノ部「レニ」ノ欄「練習艦隊司令」ハ「練習艦隊司令官」ノ誤

一 (シ)ノ部「シル」ノ欄「人事部部員」ハ「人事部長」ノ誤

(終)

0853

# 海軍公報

第六百五號

大正三年八月十九日(水)

海軍大臣官房

## ○辭令

○大正三年八月十八日  
任海軍書記  
給月俸貳拾貳圓  
任海軍技手  
給十級俸

有海逸太郎

吉岡佐一郎

## (各通)

海軍少佐	金子 養三
海軍大尉	山田 忠治
海軍中尉	和田 秀穂
海軍中尉	大崎 教信
海軍中尉	藤瀬 貞造
海軍中尉	飯倉 貞造
海軍中尉	武部 鷹雄
海軍機關大尉	花島 孝一
航空術研究委員ヲ命ス <small>(ハ海軍省)</small>	海軍書記 有海 逸太郎
横須賀海軍工廠附ヲ命ス	海軍技手 吉岡 佐一郎
舞鶴海軍工廠附ヲ命ス	

依願免本官(以上ハ海軍省)  
海軍書記 平澤 清

第四部附ヲ命ス(ハ海軍艦政本部)  
海軍技手 佐原 重男

貴官海軍大學校教官在職中參謀官ト心得ヘシ(ハ海軍大臣)  
海軍中佐 鳥巢 玉樹

## ○雜款

○電信發送注意  
旅順及馬公要港部行電信ハ線路不完全ノ爲メ遲延且誤謬多ク常ニ半數以上尋問シ來ル(往々兩三日前ノ電報ヲ尋問シ來ル)ニ付當分ノ内前記宛ノ電報ニ限リ照校電報(ムニ)ノ指定ヲ要ス

○郵便物發送先  
舞鶴鎮守府艦隊司令部並ニ軍艦三笠宛  
八月十九日迄ニ到着見込ノモノハ 福井縣敦賀  
八月二十一日迄ニ到着見込ノモノハ 島根縣美保  
其後ハ 舞鶴軍港

海軍公報第六百五號 大正三年八月十九日

六五三

0854

○電話架設

豊多摩郡千駄ヶ谷町大字千駄ヶ谷八五二番町一八八一番 海軍經理學校長 清水 宇助  
芝區白金臺町一丁目五九 芝一五六七番 海軍省經理局局員 久野 工

0855

(秘 外 部)

海軍公報第六百五號附錄

大正三年八月十九日(水)

海軍大臣官房

○艦船所在

▲印ハハホフ  
指定ヲ要セス

○八月十九日午前十時調

【横須賀】 河内、宗谷▲、津輕、相模、卜滿州▲、

香取、朝日▲、比叡、壹岐▲、橋立、日夕風▲、

疾風、山彥、日夕霧、叢雲、關東丸▲、栗橋丸、

若宮丸、小樽丸、玄海丸、水六七、水七〇、白鷹、

雄、日鴻、鷗

【濱】 日水七一、水六八

【函館】 千早、日曆、朧

【三尻】 日水六六、水二九

【得撫】 武藏

【乙前】 大和

【吳】 卜伊吹▲、安藝▲、卜春日、卜薩摩、石見、

周防、攝津、富士、扶桑、淺間、龍田▲、

丹後、生駒▲、平戸▲、駒橋、日潮、若葉、

朝風、子日、日春風、追風、初雪、初春、

椅子山丸、日水五九、水五八、潛一、潛二、潛六、

潛七、潛八、潛九、韓崎、日潛一〇、潛一一、潛一二、

潛一三、歷山丸、豊橋丸、梅丸、朝鮮丸、探提丸、

硯海丸、潛三、日潛四、潛五

【神門】 榛名、千代田

【戸司】 殿島

【鶴】 日進、見島▲、鹿島▲、新高▲、阿蘇、

淀橋丸、日千鳥、鶴、隼、真鶴、水七五、水七三、

水七二、水七四

【佐世保】 高千穂、筑摩、矢矧、卜音羽、日彌生、

有明、吹雪、霞、日如月、初霜、神風、

日山風、海風、日橋、櫻、卜敷島▲、肥前、

笠置、沖島▲、朝霧、日白露▲、夕立▲、三日月▲、

夕暮▲、白雪▲、村雨▲、日水三三、水六一、水六〇、

猿橋丸、熊野丸、宮島丸、琉球丸、鹿見島丸、

福州丸、雲雀、鞠

【長崎】 霧島、日鷲、臨

【馬公】 須磨、日不知火、薄雲

【釜山】 秋津洲

【旅順】 明石、日雁、燕、蒼鷹、鶴

【上海】 卜對馬、隅田、伏見、宇治、淀、

嵯峨、鳥羽

【航海中】 最上(十一日)「ホンタイ」(發馬公へ)

0856

- 日金剛(十六日横須賀發佐世保)
- 時雨(十七日吳發豊後水道)
- 磐手、常磐(十七日佐世保發黄海)
- 出雲(十七日「サンアイエゴ」發桑港)
- 神通丸(十八日吳發佐世保)
- 吾妻(十八日佐世保發舞鶴)
- 口鞍馬、筑波、千歳、八雲(十八日佐世保發)
- 利根、白妙、松風、野分、綾波、磯波、浦波、
- 朝潮、白雲、鵜炎(十八日佐世保發朝鮮南西岸)
- 響(十八日横須賀發佐世保)
- 高崎丸(十八日佐世保發吳)
- 三笠(十八日舞鶴發美保ノ關)
- 松江(十八日佐世保發上海)
- 長月、菊月、卯月、水無月(十八日佐世保發吳)
- 三河丸(十八日佐世保發)

0857

# 海軍公報 第六百六號

大正三年八月二十日(木)

海軍大臣官房

## ○令達

官房第二三九六號  
酒保設置規程中左ノ通改正ス

大正三年八月二十日

海軍大臣 八代 六郎

第九條ノ二 主計長ハ艦團其他各部ノ長ノ命ヲ承ケ酒保ノ金錢會計事務ヲ監督スヘシ

## ○通牒

教本第八七七號

大正三年八月二十日

海軍教育本部長 名和 又八郎

鎮守府司令長官殿

海軍機關學校練習生採用ノ件

甲、左記諸號ニ依リ第十七期普通科電機機術練習生ヲ採用ス

### 一、員數

横須賀鎮守府

七十五名

吳 鎮守府

七十五名

佐世保鎮守府

二十五名

舞鶴鎮守府

二十五名

二、海軍機關學校規則第三十五條ニ依ル三等機關兵進級停年計算最終期日

來ル九月末日

三、採用試験施行豫定期日

來ル九月二十五日

四、所見表到達期限

來ル十月三十一日

五、入校豫定期日

來ル十一月二十日ヨリ同二十三日迄

乙、左記諸號ニ依リ第十七期普通科電機機術練習生ヲ採用ス

### 一、員數

横須賀鎮守府

十五名

吳 鎮守府

五名

佐世保鎮守府

十名

大正三年八月二十日

六五五

0858



舞鶴鎮守府

五名

二、海軍機關學校規則第三十五條ニ依ル三等機關

兵進級停年計算最終期日

來ル九月末日

三、採用試験施行豫定期日

來ル九月二十五日

四、所見表到達期限

來ル十月三十一日

五、入校豫定期日

來ル十一月二十日ヨリ同二十三日迄

○雜款

○改姓

海軍上等機關兵曹石九源一ハ本年六月五日長崎縣平民  
小笠原家へ入籍ノ旨届出タリ

○死去

後備役海軍看護師勳六等久保田慶一ハ八月七日死去セ  
リ

(秘外部)

海軍公報第六百六號附錄

大正三年八月二十日(木)

海軍大臣官房

○艦船所在

▲印ハハホノ  
指定ヲ要セズ

○八月二十日午前十時調

【横須賀】

河内、宗谷▲、津輕、相模、ト滿州▲、  
香取、朝日▲、比叡、壹岐▲、橋立、ト夕風▲、  
疾風、山彦、ト夕霧、叢雲、關東丸▲、栗橋丸、  
若宮丸、小樽丸、玄海丸、水六七、水七〇、白鷹、  
雄、ト鴻、鷗

【函館】

ト水七一、水六八

【三尻】

千早、ト曙、朧、水二九

【得撫】

ト水六六

【乙前】

大和

【吳】

ト伊吹▲、安藝▲、ト春日、石見、周防、  
富士、扶桑、淺間、時雨、龍田▲、丹後、  
生駒▲、平戸▲、駒橋、ト潮、若葉、朝風、  
子日、ト春風、椅子山丸、ト水五九、水五八、  
潜一、潜二、潜六、潜七、潜八、潜九、韓崎、  
潜一〇、潜一一、潜一二、潜一三、歷山丸、豊橋丸、  
高崎丸、梅丸、朝鮮丸、擇捉丸、視海丸、潜三、  
潜四、潜五

【豊後水道】

追風、榛名、初雪、初春

【神戶】

駿島

【門司】

日進、見島▲、鹿島▲、新高▲、阿蘇、  
淀橋丸、ト千鳥、鶴、水七五ト水七三、水七二、  
水七四

【舞鶴】

真鶴、隼

【敦賀】

高千穂、筑摩、ト金剛、ト薩摩、攝津、  
矢矧、ト音羽、ト彌生、有明、吹雪、霞、  
ト如月、初霜、神風、ト山風、海風、ト橘、  
櫻、ト敷島▲、肥前、笠置、沖島▲、朝霧、  
ト白露▲、夕立▲、三日月▲、夕暮▲、白雪▲、村雨▲、  
ト水三三、水六一、水六〇、熊野丸、宮島丸、神通丸、  
三池丸、琉球丸、鹿兒島丸、福州丸、雲雀、鶉

【佐世保】

霧島、ト鷲、鶴

【長崎】

須磨、ト不知火、薄雲

【馬公】

須磨、ト不知火、薄雲

【旅順】

ト雁、霧、蒼鷹、鶴

【上海】

ト對馬、隅田、伏見、宇治、淀、  
嵯峨、鳥羽

【航海中】

海軍公報第六百六號附錄

0860

最上(十一日「ホシグイ」發馬公へ)  
 出雲(十七日「サンデアイエゴ」發桑港へ)  
 吾妻(十八日佐世保發舞鶴へ)  
 響(十八日横須賀發佐世保へ)  
 松江(十八日佐世保發上海へ)  
 長月、菊月、卯月、水無月(十八日佐世保發吳へ)  
 三河丸(十八日佐世保發)  
 明石(十九日旅順發)  
 猿橋丸(十九日佐世保發)  
 千代田(十九日神戸發吳へ)  
 三笠(十九日美保ノ關發舞鶴へ)  
 秋津洲(十九日釜山發佐世保へ)  
 鞍馬、筑波、千歳、八雲、磐手、常磐、ト利根、白妙、  
 松風、野分、綾波、磯波、浦波、朝潮、白雲、陽炎  
 (佐世保發)

0861

# 海軍公報

第六百七號

大正三年八月二十一日(金)

海軍大臣官房

## ○辭令

海軍造船中監 小田 末次郎  
(七月海軍艦政本部)  
 海軍主計少監 石倉 俊寛  
(八月海軍艦政本部)  
 第一部勤務ヲ命ス

海軍公報第六百七號 大正三年八月二十一日

六五七

0862

# 海軍公報第六百七號附錄

大正三年八月二十一日(金)

## 海軍大臣官房

### ○令達

官房第二四〇八號

陸軍運送船乘組海軍監督將校以下ニ要スル經費ハ海軍省經理局ノ所掌トス

大正三年八月二十一日 海軍大臣 八代 六郎

### ○艦船所在

▲印ハハホノ指定ヲ要セズ

○八月二十一日午前十時調

【横須賀】 河内、宗谷、津輕、相模、ト満州▲

香取、朝日▲、比叡、壹岐▲、橋立、ト夕風、

疾風、山彦、ト夕霧、叢雲、關東丸、栗橋丸、

若宮丸、小樽丸、玄海丸、水六七、水七〇、白鷹、

雉、ト鴻、鷗

【横濱】 水七一、水六八

【小樽】 水七〇

【函館】 千早、隴、水二九

【三鷹】 水六六

【得志】 武藏

【片岡灣】 大和

【吳】 ト伊吹▲、安藝▲、春日、石見、周防、

富士、扶桑、淺間、時雨、龍田▲、丹後、

生駒▲、平戸▲、駒橋、ト春風、椅子山丸、

ト水五九、水五八、潜一、潜二、潜六、潜七、

潜八、潜九、潜一三、歷山丸、豊橋丸、高崎丸、

梅丸、朝鮮丸、硯海丸、潜三、ト潜四、潜五、

【郡中沖】 ト潮、若葉、朝風、子日

【阿多田島北方】 韓崎、ト潜一〇、潜一一、潜一二

【豊後水道】 追風

【神戶】 榛名、初雪、初春

【門司】 嚴島

【舞鶴】 ト三笠、吾妻、日進、見島▲、鹿島▲、

新高、阿蘇、泥橋丸、ト千鳥、鶴、水七五、

ト水七三、水七四、水七四

【敦賀】 真鶴、集

【佐世保】 高千穂、筑摩、ト金剛、ト薩摩、攝津、

矢矧、ト音羽、ト彌生、有明、吹雪、曙、

ト如月、初霜、神風、ト山風、海風、ト楯、

ト敷島▲、肥前、笠置、沖島▲、秋津洲、

朝霧、ト白露▲、夕立▲、三日月▲、夕暮▲、白雪▲、

村雨▲、ト水三三、水六一、水六〇、熊野丸、

海軍公報第六百七號附錄

0863

宮島丸、撫順丸、神通丸、三池丸、琉球丸、鹿兒島丸、福州丸、雲雀、鶉

【長崎】霧島、巨鷹、鷗

【馬公】最上、須磨、巨不知火、薄雲

【旅順】明石、蒼鷹、鶴

【大連】巨雁、燕

【上海】巨對馬、隅田、伏見、宇治、淀、嵯峨、鳥羽

【桑港】出雲

【航海中】

響(十八日横須賀發佐世保)

松江(十八日佐世保發上海)

巨長月、菊月、卯月、水無月(十八日佐世保發吳)

三河丸(十八日佐世保發)

檜橋丸(十九日佐世保發)

千代田(十九日神戸發吳)

巨鞍馬、筑波、巨千歲、八雲、巨磐手、常磐、巨利根、巨白妙、松風、野分、巨綾波、磯波、浦波、巨朝潮、白雲、陽炎(佐世保發)

擇捉丸(二十日吳發佐世保)

○雜款

○旗艦指定  
第二艦隊司令官旗艦ヲ八月二十日左ノ通り指定セル旨報告アリ

柄内司令官旗艦 盤手  
上村司令官旗艦 千歲  
岡田司令官旗艦 利根

0864

(秘 外 部)

海軍公報號外

○令達

改正

官房第二四一二號 大正三年八月二十一日  
歐洲事件費整理規程左ノ通定ム施行期日ハ別令達ス  
大正三年八月二十一日

海軍大臣 八代 六郎

歐洲事件費整理規程

第一條 歐洲事件費ノ支出科目ハ別表ニ依ル

第二條 第一、第二、第三艦隊其ノ他特ニ指定スル各部ニ要スル經費ハ此規程施行ノ日ヨリ歐洲事件費ノ支辨トス

第三條 前條ニ依ルモノヲ除クノ外左ノ各號ニ該當スル經費ヲ歐洲事件費ノ支辨トス  
一 俸給

海軍戰時給與規則ニ依ル増俸 豫備役後備役軍人、歸休兵、臨時新募兵ノ俸給、航海加俸、下士卒特別加俸 臨時増員タル文官ノ俸給 鎮守府ニ於テ使用スル官有船舶乗組ノ者ニ給スル航海加俸

二 廳費

大正三年八月二十一日(金)

海軍大臣官房

三 旅費

臨時特ニ増加スル物品費、印刷費、通信費、運搬費  
軍人ノ赴任轉勤轉乘旅費 臨時事件ニ關スル軍屬ノ赴任轉勤旅費 臨時特ニ要スル出張旅費 豫備役後備役軍人、歸休兵ノ召集、歸鄉旅費 臨時新募兵ヲ免役シタルトキノ歸鄉旅費

四 衣糧費

特命ニ依リ臨時増備ヲ要スル糧食品ノ購買費及製造用消耗品 特命ニ依リ臨時増備ヲ要スル被服物品ノ購買費及裁縫費 準備量額ノ補充ニ要スル糧食品ノ購買費及裁縫費 臨時特ニ要スル被服物品ノ購買費及裁縫費 臨時特ニ要スル糧食品ノ購買費 豫備役後備役軍人、歸休兵、臨時新募兵及海軍戰時給與規則ニ依リ支給スル食料 臨時使用スル雇員傭人、職工人夫ノ給料 海軍戰時給與規則ニ依ル増給及職工ノ加給 臨時特ニ増加スル雜費 海軍戰時給與規則第二十條ノ二ニヨリ支給スル現品又ハ現金 鎮守府ニ於テ使

0865

五

用スル官有船舶乘組ノ者ニ給スル糧食品ノ購買費、食料入院患者ニ給スル糧食品ノ購買費、造船兵及修理費

特命ニ依ル雜船製造及兵器ノ購買製造費、艦船兵器ノ臨時修理費、特命ニ依リ臨時増備ヲ要スル消耗兵器ノ購買製造費、準備量額ノ補充ニ要スル消耗兵器ノ購買製造費、特命ニ依リ臨時増備ヲ要スル造船兵材料物品及製造用機械費、臨時使用スル雇員傭人、職工人夫ノ給料、海軍戰時給與規則ニ依ル増給、臨時特ニ増加スル雜費

六

患者

特命ニ依リ臨時増備ヲ要スル治療品、患者用備品消耗品ノ購買費、準備量額ノ補充ニ要スル治療品、患者用備品消耗品ノ購買費、準備治療品ノ増加ニ伴フ容器代價、臨時使用スル雇員傭人入夫ノ給料、海軍戰時給與規則ニ依ル増給、臨時特ニ増加スル患者費、傳染病豫防消毒諸費、臨時特ニ増加スル雜費

七

艦營

特命ニ依リ臨時増備ヲ要スル艦營需品ノ購買費、準備量額ノ補充ニ要スル艦營需品ノ購買費、特命ニ依ル煉炭製造諸費、臨時特ニ増加スル保管運搬費、雜費、臨時使用スル雇員傭人職工人夫ノ給料、海軍戰時給與規則ニ依ル増給

八

營繕費

特命ニ依リ臨時假設ヲ要スル營造物ノ新營費及修繕費

九

船舶費

船舶ノ購入費並戰時編制ニ基キ臨時特ニ傭入ヲ要スル船舶ノ借料

十

機密費

臨時軍事ニ要スル機密費

十一

雜給及雜費

臨時使用スル雇員傭人ノ給料、海軍戰時給與規則ニ依ル増給、臨時特ニ要スル給與及特ニ増加スル雜費

十二

諸手当

海軍戰時給與規則ニ依ル手当金、勞働手当、豫備役後備役下士卒及歸休兵ノ宿舍手当

十三

軍港要港費

特命ニ依リ臨時設備ヲ要スル港用品、建築物ニアラサル海標ノ購買製造費、臨時使役スル傭人、職工人夫ノ給料及勤勉手当、海軍戰時給與規則ニ依ル増給

十四

水路費

特命ニ依ル測量費、特命ニ依リ臨時増備ヲ要スル圖誌費、臨時使用スル雇員傭人ノ給料、海軍戰時給與規則ニ依ル増給、臨時特ニ増加スル雜費



歐洲事件費科目表

款	項	目	細別	備考	和文 電信略號	歐文 電信略號
歐洲事件費	歐洲事件費	俸給	將官俸給		ア ユ	f 1
			上長官士官俸給		五 イ	f 3
			奏任俸給		五 ハ	f 5
			候補生俸給		五 ホ	f 6
			兵曹長准士官俸給		五 ヘ	f 7
			下士俸給		五 ト	f 8
			判任俸給		五 チ	f 9

十五 雜件費

臨時特ニ要スル賠償金、埋葬費、死傷手當其ノ他前各號ニ屬セサル臨時諸費  
 第四條 徵發物件ノ賠償金額ハ各相當科目ノ支辨トス  
 第五條 委任仕拂命令官ニ於テ各目ノ豫算金額ヲ増減

更定スルノ必要アルトキハ經理局長ノ承認ヲ經ルモ  
 ノトス  
 第六條 歐洲事件費ノ支出報告書及仕拂報告書ハ別冊  
 トシ細別ノ金額ハ節ノ欄内ニ記入提出スヘシ

0867

旅														
費														
	通信運搬費	消耗品	筆紙墨文具	圖書及印刷費	備品費		新募兵俸給	臨時増員文官俸給	召集員俸給	増俸	下士卒特別加俸	航海加俸	在勤加俸	卒俸給
							臨時増募ノ新兵ニ給スル俸給		豫備役後備役歸休兵召集中ノ准士官以上下士卒俸給					
ア	五	五	五	五	五	ア	五	五	五	五	五	五	五	五
ヒ	ウ	ム	ラ	ナ	ネ	シ	タ	ヨ	カ	ワ	ヲ	ル	ホ	リ
i	h	h	h	h	h	h	g	g	g	g	g	g	g	g
3	8	7	6	5	4	3	8	7	6	5	4	3	2	1

0868

			造船造兵及修理費							衣糧費				
造船附屬費	造船機械費	艦船造修費		雜費	裁縫費	被服購買費	麵包製造費	食料	糧食購買費		召集及歸鄉旅費	出張旅費	轉勤轉乘旅費	赴任旅費
				鳥獸飼料共							豫備役後備從隊休軍人ノ召集歸郷並ニ臨時新募兵ノ免役歸郷旅費			
六 ホ	六 ハ	六 ロ	ア セ	五 モ	五 ヒ	五 シ	五 メ	五 ユ	五 キ	ア モ	五 コ	五 フ	五 ケ	五 マ
k 6	k 5	k 4	k 3	j 8	j 7	j 6	j 5	j 4	j 3	j 2	i 7	i 6	i 5	i 4

0869

			艦營費						患者費							
消耗品	定備品		雜費	依託患者費	傳染病豫防及消毒諸費	病室諸費	藥劑費	療用品費		雜費	造兵附屬費	造兵機械費	兵器造修費	兵器購入費		
六 ウ	六 ム	六 シ	六 ツ	六 ソ	六 レ	六 タ	六 ヨ	六 カ	六 ス	六 ヌ	六 リ	六 チ	六 ト	六 ハ		
m	m	m	m	m	m	l	l	l	l	l	l	k	k	k		
9	8	7	3	2	1	9	8	7	6	2	1	9	8	7		

六

0870

		雜給及雜費	機密費			船舶費			營繕費												
雇員給	給與			船舶借料	船舶購買		何々修繕	何所假設		雜給雜費	保管運搬費	煉炭製造	諸檢	材料物品	燃料						
七 ロ	七 イ	キ ア	サ セ	六 ヒ	六 シ	サ セ			サ ヒ	六 ケ	六 マ	六 ヤ	六 ク	六 ノ							
9 6	9 5	9 4	9 3	p 8	p 7	p 6			n 9	n 5	n 4	n 3	n 2	n 1							

七

0871

				軍港要港費									諸手當	
測量費		備給	港用品費		航空手當	宿舍手當	服裝手當	武裝手當	勞働手當	召集手當	派遣手當		雜費	傭人料
		勸勉手當共								同第十條ニ依ルモノ	戰時給與規則第九條ニ依ルモノ			
七ツ	キユ	七ホ	七ツ	キキ	七ヨ	七カ	七ヲ	七ヲ	七ル	七ヌ	七リ	キサ	七ホ	七ハ
t	t	s	s	s	s	r	r	r	r	r	r	r	q	q
3	2	7	6	5	1	9	8	7	6	5	4	3	8	7

0872

廢止

大正三年  
八月二十一日  
官房第二四一三號

官房第二四一三號  
歐洲事件費整理規程第二條ニ依リ歐洲事件費ヲ以テ經  
費ヲ支辨スヘキ各部左ノ通指定ス

大正三年八月二十一日

海軍大臣 八代 六郎

在役艦船 練習艦艇及  
特設船舶 測氣艦ヲ除ク  
特設部隊

海軍公報號外

横須賀防備隊  
佐世保防備隊  
鎮海防備隊  
馬公防備隊  
旅順防備隊  
馬公要港部  
旅順要港部  
望 無線電信所

何々	死亡賜金	退官賜金	死傷手當	埋葬費	賠償金	雜件費	雜費	圖誌費
	同	臨時増員文官ニ要スル分						
	七	七	七	七	七	キ	七	七
	サ	ア	テ	コ	フ	メ	ク	ノ
	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ	ト	ト	ト
	五	四	三	二	一	九	五	四

0873

經豫第三九二號

本年八月經豫第三八二號歐洲事件費支出整理區分ハ本  
年八月官房第二四一二號歐洲事件費整理規程施行ノ日  
ヨリ自然消滅ノ義ト承知相成度  
右爲念通牒ス

大正三年八月二十一日

海軍省經理局長 志 佐 勝

0874